

令和元年 第11回(令和元年7月24日 開催) 四日市市教育委員会会議の概要について

<議 事>

- 議 案 ・ 四日市市いじめ問題対策調査委員の委嘱について

- 協 議 ・ 次期総合計画で取り組む政策・施策の方向性について
・ 学童保育所による学校施設の利活用について

- 報 告 ・ 平成30年度本市におけるいじめ・不登校の状況報告について

議事概要

○協 議

- ・ 次期総合計画で取り組む政策・施策の方向性について
次期総合計画における教育分野の政策・施策の方向性について協議しました。
- <委員からの主な意見>
 - ・ 教育以外の分野との整合性を保ちながら、教育分野についての検討を進めてほしい。
 - ・ 文化財保存活用地域計画の策定をきっかけに、文化財を通して全国に四日市をアピールするような取り組みができればよい。

- ・ 学童保育所による学校施設の利活用について
学童保育所による学校施設の利活用に向けた今後の取り組みについて協議しました。
- <委員からの主な意見>
 - ・ 学校施設の活用状況は、各校によって様々である。まずは教育委員会としての一定の基準を作り、それに基づいて各校と今後の学校施設の利活用について協議できればよい。
 - ・ 余裕教室については、学童保育所としての活用に限らず、普通の授業での使い方を工夫するなど、教育効果がより高められるような活用方法を検討してほしい。

○報 告

- ・ 平成30年度本市におけるいじめ・不登校の状況報告について
平成30年度のいじめ・不登校の件数や対応策について報告しました。
- <委員からの主な意見>
 - ・ 悩みを持った子どもやその保護者が、スクールカウンセラーに相談したくても周囲の目が気になって相談しづらい場合も考えられる。より相談しやすい環境作りが重要である。
 - ・ 各校でのスクールカウンセラーの活動時間には限りがあるため、ハートサポーターやスクールソーシャルワーカーなど、様々な専門家を適切なタイミングで有効活用できるような体制が重要である。
 - ・ いじめ調査と不登校調査を別々に分析するのではなく、一つのものとして分析することでいじめと不登校に共通する原因が見つかる可能性もある。